



日本健康心理学会 第34回大会 プログラム

会期：2021年11月15日（月）12：00 ～ 2021年11月21日（日）17：00

オンライン開催



ご挨拶

日本健康心理学会第34回大会は、2021年11月15日から11月21日の一週間にわたり、オンラインで開催いたします。お茶の水女子大学が大会準備を仰せつかり、理事会のご指導のもと、準備を進めてまいりました。当初より、対面開催の実現をめざして準備を進めてまいりましたが、いくどかの感染拡大の波に見舞われたことから、昨年度に続いてのオンライン開催となりました。

第34回大会のテーマは、「アフターコロナ時代の健康心理学をめざして」です。世界中が、2年近くにわたり、感染症予防のための行動変容や、新しい生活様式の導入を余儀なくされてきました。感染症対策としての個人の行動変容、不安や流言などに対する心理的支援は、まさに健康心理学の重要な研究課題です。顧りみると、結核、AIDS、SARS、H1N1インフルエンザ、感染症流行のたびに健康心理学研究が活発に行われ、健康心理学は、感染症への対応とともに発展したといっても過言ではないでしょう。やむなく開始されたリモートワークやオンライン授業も、生活にだいぶ浸透したように感じられます。このような新たな生活様式の影響についての心理学研究も今後進んでいくものと思われまます。本学術集會が、コロナ後を見据えた健康心理学研究を考える機会となれば幸いです。

お茶の水女子大学のバーチャルツアーを少しだけ。お茶の水女子大学は、東京文京区にあり、東京駅から20分、地方からお越しの際にもアクセスしやすい場所に位置しています。御茶ノ水にキャンパスがあったのは、明治から大正のこと。昭和初期に現在の茗荷谷に移転することになりました。文教地区の住宅地に囲まれた静かな落ち着いた環境であり、大会開催の11月下旬から12月初旬の東京は、いちょうが色づく季節となり、キャンパスも初冬の光と彩に囲まれます。機会がありましたら是非お越しください。

本学術集會のオンライン開催も、昨年を引き続き2年目となります。すっかり定着したオンライン学会ですが、オンラインの恩恵の一方で、同じ空間を共有し対面で交流することの大切さをあらためて実感された方々も多いものと拝察します。この学術集會が、会員そして参加者の皆さまにとり、有意義な学術交流の場となりますよう、大会準備委員一同努めてまいりました。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日本健康心理学会第34回大会準備委員会
委員長 大森美香

○理事長講演（動画配信）

演題：アフターコロナへ向かう健康心理学

日本健康心理学会理事長 田中 共子（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

○大会準備委員会特別講演（動画配信：11月20日（土）11:30 - 17:00）

演題：結核とヘルス・コミュニケーション

秋篠宮 紀子（結核予防会・お茶の水女子大学）

司会：大森 美香（お茶の水女子大学・東北大学）

○シンポジウム（動画配信）

大会準備委員会企画シンポジウム

演題：食行動と心身の健康

ー心身医学・心理学・栄養学からのアプローチー

企画者：日本健康心理学会大会準備委員会

司会者：大森 美香（お茶の水女子大学・東北大学）

赤松 利恵（お茶の水女子大学）

話題提供者：菊地 裕絵（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター）

話題提供者：山崎 洋子（お茶の水女子大学）

話題提供者：河寄 唯衣（お茶の水女子大学・ポツダム大学）

指定討論者：藤原 葉子（お茶の水女子大学）

（共催：お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所・人間発達教育科学研究所）

機関誌編集委員会企画シンポジウム

演題：日本健康心理学会における利益相反と職業倫理
—学会会員間の考え方の共有と研究活動の促進を目指して—

企画者：日本健康心理学会機関誌編集委員会
司会者：大竹 恵子（関西学院大学文学部総合心理科学科）
話題提供者：山本 隆一郎（江戸川大学社会学部人間心理学科）
話題提供者：山野 洋一（岡山大学大学院社会文化科学研究科）
話題提供者：金沢 吉展（明治学院大学心理学部心理学科）
指定討論者：島井 哲志（関西福祉科学大学心理科学部心理科学科）

研究推進委員会企画シンポジウム

演題：健康心理学研究における自然言語処理の活用可能性を考える

企画者：日本健康心理学会研究推進委員会
司会者：本田 周二（大妻女子大学人間関係学部）
話題提供者：狩野 芳伸（静岡大学情報学部）
話題提供者：嘉瀬 貴祥（立教大学現代心理学部）
話題提供者：村中 誠司（大阪大学大学院人間科学研究科）
指定討論者：荒牧 英治（奈良先端科学技術大学院大学）
指定討論者：嶋田 洋徳（早稲田大学人間科学学術院）

国際委員会企画 Invited Symposium

演題：米国と台湾の健康臨床心理学研究に関するエビデンスの報告
<発表は英語にて行われますが、日本語の要約があります>

企画者：日本健康心理学会国際委員会
金原 さと子（Palo Alto University, U.S.A.）
清水 安夫（国際基督教大学）
司会者：大森 美香（お茶の水女子大学・東北大学）
山宮 裕子（Temple University, Japan Campus）
話題提供者：Larry E. BEUTLER（Palo Alto University, U.S.A.）
話題提供者：Hsiu-Jung, CHEN（National Taiwan Normal University, Taiwan）

会員企画シンポジウム

演題：助産師教育に行動変容を！

—ママと赤ちゃんの健康を守る健康心理学的アプローチ—

司会・企画者：竹中 晃二（早稲田大学人間科学学術院）

話題提供者：安達 久美子（東京都立大学大学院人間健康科学研究科）

話題提供者：石川 菜々子（早稲田大学大学院人間科学研究科）

話題提供者：佐藤 ちはる（早稲田大学大学院人間科学研究科）

指定討論者：飯尾 美沙（関東学院大学看護学部）

演題：COVID-19 と学生のメンタルヘルス

—ストレス、心的外傷、嗜癖、生活習慣の観点から—

企画者：藤田 益伸（神戸医療福祉大学人間社会学部）

司会者：永浦 拡（神戸医療福祉大学人間社会学部）

話題提供者：野田 哲朗（兵庫教育大学大学院学校教育研究科, 保健管理センター）

話題提供者：堤 俊彦（大阪人間科学大学心理学部）

話題提供者：藤田 益伸（神戸医療福祉大学人間社会学部）

話題提供者：永浦 拡（神戸医療福祉大学人間社会学部）

指定討論者：廣川 空美（梅花女子大学看護保健学部）

〇ワークショップ（動画配信）

研究推進委員会企画

演題：パンデミック下における研究方法

—コロナ禍における研究・臨床実践を踏まえて—

企画者：日本健康心理学会研究推進委員会

司会者：金井 嘉宏（東北学院大学）

話題提供者：田中 佑樹（和洋女子大学）・森石 千尋（早稲田大学）

話題提供者：後藤 晶（明治大学）

話題提供者：藤本 志乃（ウェルビーイングのためのカウンセリングルーム Le: self）

○健康心理学研修会（動画配信：要事前申込、事前申込者に対し動画閲覧 URL を送付）

テーマ：コロナ禍での健康心理士の役割と実践 part 2

第 124 回健康心理学研修会

演題：心と身体をつなぐトラウマセラピー ―自律神経を軸にウェルネスを考える

演者：花丘 ちぐさ（「国際メンタルフィットネス研究所」代表）

早稲田大学教育学部国語国文学科卒業、ミシガン州立大学人類学専攻修士課程修了、桜美林大学大学院国際人文社会科学専攻博士課程後期修了、博士（学術）。専門健康心理士、公認心理師。著書に「その生きづらさ、発達性トラウマ？-ポリヴェーガル理論で考える解放のヒント」（春秋社）、訳書に「ポリヴェーガル理論入門」ステファン・ポージェス著（春秋社）などがある。

第 125 回健康心理学研修会

演題：健康心理士としてのセルフケアサポート：マインドフルネスの視点から

演者：山口 伊久子（Mindfulness & Yoga Network）

健康心理学修士。日本マインドフルネス学会理事/事務局長・研修委員。

2012 年 Mindfulness & Yoga Network を設立、マインドフルネスの実践会や WS を開催。また、企業研修、市民講座、少年院や障害者施設での研修もおこなう。現在ではオンラインで「マインドフルネス認知療法（MBCT）8 週間プログラム」等開催。著書『「動じないところ」を育てるマインドフルネスヨガ』（池田書店）等（HP <http://mindfulness-yoga.jp>）

○健康心理士相談会（大会期間中、Eメールにおいて随時相談受付）

問い合わせ先メールアドレス：okola87819@yahoo.co.jp

○会員集会（ライブ配信）

日時：2021 年 11 月 20 日（土）11：00～11：30（予定）

<参加方法は後日お知らせいたします>

○本明記念賞受賞講演（動画配信）

演題：イフ・ゼン・プランを用いたメンタルヘルス・プロモーション活動の行動変容
介入

演者：竹中晃二（早稲田大学）・上地広昭（山口大学）・吉田椋（早稲田大学大学院）

○アーリーキャリアヘルスサイコロジスト賞 ポスター発表（ポスター）

演 題：Gratitude promotes fairness in elementary school children.

発表者：小國龍治（関西学院大学大学院）

演 題：Effects of traumatic experiences on negative cognitions and interpersonal styles.

発表者：森石千尋（早稲田大学大学院）

演 題：The effect of character traits and coping style on suicide attempts in Japanese adult
with mental disorders.

発表者：菅原大地（筑波大学人間系）

○一般演題 ポスター発表（抄録，ポスター）

ポスター発表プログラムをご参照ください。